

生活だより

11月号

生徒指導係



2学期のまとめに向けて

「登校日数85日」と聞くと、結構長い2学期と感じましたが、あと20日ほどで終業式を迎えます。生徒会の新役員が決まり、引き継ぎの話題を耳にすると、どの学年も節目の時期を迎えていることを実感します。3年生から2年生に生徒会が引き継がれると、3年生は卒業とその後の進路について具体的に考え、2年生は南宮中の「柱」になることを意識し、1年生はあと半年で「先輩」と呼ばれることを頭において生活していくこととなります。

「蒼龍祭」の閉祭式で、何人かの委員長が今後の生徒会活動について語ってくれました。合唱など「蒼龍祭」で全校に示してくれた3年生の姿はもちろん、今現在も目立たないところで支えてくれている先輩の姿などを見て、「こんな南宮中の生徒になりたい」と自分がめざすべき中学生像が具体的になっているといいですね。(3年生は、3月に卒業していった先輩方の姿も思い出してみましょう。)

イベント的なことがないと、日常生活がなんとなく流れていってしまい、「2学期後半は何してたっけ?」とふり返ることになりがちです。自分なりの「めざすべき姿」「こうりたい姿」を思い描き、良い2学期のまとめ＝「2021年のまとめ」ができるといいですね。



【目を見てeyeさつ】



【3年生の歌声も引き継ごう】



【交流清掃で先輩から学ぶ】

「自分の生活や友達との接し方を見返し、お互いを尊重して生活」できたかな？

11月の「人権同和教育月間」で、人権にかかわる授業が行われましたが、自分をふり返ればふり返るほど、「お互いを尊重して生活する」のは意外と難しいことと実感したのではないのでしょうか。

学校での「いじめ」件数が過去最多になったことが報道されてからも、今なお「いじめ」を原因とする事件やトラブルが後を絶ちません。「いじめ」や「差別」はいけないことと分かっている、つい悪口を言ってしまう、からかいや仲間外しをしてしまう…。人の心と言動はコントロールしにくいものですね。人権委員会の「言葉遣い徹底週間」の目的には、「日頃の自分の、人への言葉遣いを見直す機会とする」「人が傷つく言葉の減少をめざす」とありましたが、これを意識して生活できたでしょうか。つい言ってしまうがちな「心ない言葉」を「言わないようにする」心がまえを、今後も持ち続けてほしいと思います。

★「向上心」がある限り「優越感」もつきまとう…

より良くなろうとする「向上心」は、人より優れていたいという「優越感」につながります。

「いじめ・差別」の卵は誰の心にもあるもの…、それを大きくしない勉強がこれからも必要です。

★「仲間を笑う」と「仲間と笑う」の大きな違い

お互いを尊重していれば、仲間をネタにして笑い飛ばしたり、からかったりすることなく、仲間との「良い笑い」で誰とも楽しく過ごせるはず。人を笑う「嫌な笑い」はないですか？

★「見えない暴力」ウワサやSNS上のいじめ

本人が気づかないところで、ウワサをバラまかれたり、ネット上で悪口を言われたりして、学校生活や進路に大きな影響を与えることがあります。これは絶対にしてはならないことです。何かあれば、すぐに親や学校、警察に相談して下さい。



【全校生徒の笑顔が曇ることのないように】



さらに日が短くなり冬の寒さがやってきます

遠くの山々が白くなり始めたと思ったら初雪が降り、冬の訪れを実感するこの頃です。冬至は12月22日ですので、まだまだ日が短くなります。服装についての確認とともに、暗い道を下校する時に、交通事故や不審者(車)に遭わないよう、気をつけて速やかに帰るようにしましょう。

この黄色のラインボックス内の服装のきまりは、10月の衣替えの折に伝えてある内容ですが、新型コロナウイルス感染防止のための換気により、教室でも寒く感じる日が多くなると思います。下の緑色のラインボックス内の服装のきまりと合わせて確認し、寒さ対策をしながらきちんとした身なりで過ごすようにしましょう。

☆男子：校章入り標準型学生服（白ワイシャツ着用）・学生ズボン（ベルト着用）

☆女子：紺色ブレザー（白シャツ着用）・紺色スカートまたはスラックス

（【注】12月からは全員スラックスです。）

☆制服だけでは寒いとき（11月～3月の特に寒い時に限り許可）

○Vネックのセーター、ベスト、カーディガン（白・黒・グレー・紺で無地のもの）

○アンダーウォームシャツ、ストッキング、タイツ等の色はベージュ・黒・紺・グレーで無地

○ソックスは黒・紺・白・グレーで無地のもの（柄物や図柄の入ったものは不可）

*セーター、カーディガン、ベストは、上着の下の着用に限ります。上着の下からセーター等の袖、裾が出るものは禁止です。

*制服のボタンを開けたり、腰パンにしたりするなど、だらしない印象を与える着方はやめましょう。

*儀式（入学式・始業式・終業式・卒業式）でのソックスは、白の無地とします。

☆校舎内では、運動着の場合、長袖・長ズボンのジャージの下で寒さ対策をして下さい。

上がワイシャツで下が運動着など、中途半端な服装はやめましょう。体育の時間については体育科からの指示に従って下さい。（腕や足のけが等で、決められた服装と異なる服装になる場合は担任に申し出て下さい。）

コロナ禍における校舎内での服装についての確認

通常の衣替え後の服装については上にあるとおりですが、換気都合で校舎内や教室が寒い時もあるので、以下の服装も可とします。（ただし、保健体育と清掃の時間はジャージで活動します。）

☆上着としてジャージの上に着てもよいもの

- ・ウィンドブレーカー、カーディガン、フリースなど（白・黒・紺・グレー等を基調とした派手なデザインでないもの）
- ・袖や裾が長すぎず、作業的な学習活動の妨げにならないもの（フードが着いていないものが望ましい）

☆ひざかけを使用する場合

- ・教室で足元が冷える場合は、ひざかけの使用を認めます。（派手なデザインでないもの）
- ・主に椅子に座っての授業中に使い、腰に巻いたり肩にかけたりして歩き回ることのないようにして下さい。特別教室に移動する時は、折りたたんで持ち歩きましょう。

☆校舎内のマナーとして

- ・校舎内では、防寒具（マフラー、耳当て、手袋、ネックウォーマー等）をつけなくて下さい。職員室などに入る時は、コートやウィンドブレーカー類、防寒具をつけたまま入室しないようにしましょう。（高校入試も含め、全ての面接試験や職場訪問の基本です。）
- ・フード付きのパーカーやフリース類をやむを得ず着る場合は、フードをかぶらないようにして下さい。
- ・アンダーウォームシャツやタイツ類は寒さ対策に効果的ですが、寒い時にジャージで過ごす場合は長袖・長ジャージが原則なので、アンダーウォームシャツやタイツを着て半袖・ハーフパンツで過ごすのはやめましょう。